

## 所管事務調査報告書

令和6年12月10日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会  
委員長 五十嵐 篤 雄

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

### 記

#### ○所管事務調査

- 1 調査事項 小学校・中学校の現況について
- 2 調査日 令和6年11月27日(水)・28日(木)
- 3 出席委員 五十嵐委員長、室田副委員長、小林委員、大久保委員、越前谷委員
- 4 説明員等 教育委員会 渋川教育長、教育推進課 細江課長  
虻田小学校 横山校長、荒木教頭  
虻田中学校 鈴木校長、荒地教頭  
とうや小学校 羽根校長、田中教頭  
洞爺中学校 内山校長、古沢教頭、深谷教諭、越智教諭  
洞爺湖温泉小学校 柴田校長、竹内教頭

#### 5 調査結果

町内の小学校3校、中学校2校の現況について訪問し調査を行った。

なお、各学校には限られた時間内に調査を実施するため、事前に質問事項を提出し、当日説明を受けた。

##### ①不登校の状況について

現状を報告いただき、事案があればその原因と対策を伺った。4校で事案の報告があり、その原因は家庭環境・学業の不振・友人関係・生活リズム・病気等となっている。小学校の不登校が中学校でも継続する傾向が見られる。各学校では、状況を個別に的確に把握した上で、具体的には専門カウンセラーの活用、個別授業、オンライン授業、通級授業、特別支援学級への参加等で対応している。

## ②いじめの状況について

現状を報告いただき、事案について原因と対策を伺った。全学校でいじめの事案があり年数回のアンケート調査で実態を把握している。嫌な思いをした事がある事態でいじめと判定し、早期に解決する対応を行ない重大事態にならないように努力している。このことから、概ね事前に処置されており落ち着いた状況となっている。

## ③クーラーの設置効果について

昨年の猛暑を受けて、今年度は各学校にクーラーが2箇所設置されたことからその効果について伺った。保健室には全学校で設置されており、もう1台については、各学校で使い勝手の良い箇所に設置されていて、気温を基に授業内容等を学年ごとに把握した上で適宜利用されていた。今年の夏は、去年ほどの猛暑ではなかったことから上手く対応できたが、来年度の全教室への設置に期待の声が全学校で聞かれた。

## ④学年相応の学力について

全国学力・学習状況調査に基づいた報告を受けた。全国・全道の平均を上回った学校がある一方で下回る学校もあり、学力向上が継続した課題となっている。全国学力調査は、対象となる児童・生徒が毎年変わることや、受ける人数等で大きく結果が変化することから内容をしっかり分析し個々の学力を把握している。学校毎に学力向上に向けて様々な取組が行われているが結果が伴わない現状となっている。

## ⑤ICTの活用状況と課題について

タブレットが一人に1台ずつ貸与され、授業に大いに活用されているほか、家に持ち帰り家庭学習にも役立っている。また、学校と家庭の連絡手段としての活用や、教職員の校務にも活用されているが、PCの処理能力や個々のスキルなどの課題もある。また、家庭における利用については、通信設備の負担や目的外利用（動画、音楽）などに課題がある。

## ⑥部活動の状況について（中学校のみ）

中学校の部活動について、生徒数の減少から、部活動の休止や廃止が進み、地域移行が現実となっている。吹奏楽部がかろうじて両校で存続している現状である。スポーツの部活では個人種目での大会参加が可能なバトミントン部が活動できる状況となっている。

各学校から質問回答を受け現況調査を行った中で、総務常任委員会からの意見として、ICT関連では、タブレットの予備設置、校務用PCの処理能力の改善や容量不足の解消、AIドリルの継続導入、家庭での通信環境整備が困難な世帯に対する助成の検討。また、児童・生徒の状態に応じた支援員の拡充。教育環境の充実整備の観点から校舎の不具合の解消（特にトイレの洋式化）。これらに関して、教育委員会として取組むよう要望します。